

令和7年度重点施策評価シート（令和6年度実施分）

基本目標3 伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る

数値目標	今後も新上五島町に住み続けたいと思う町民の割合を3割程度向上させる。					
基準値	R1実施 町民アンケート 51.8%	R2	R3	R4	R5	R6
		-	-	70.1%	-	-
分析	令和4年度に実施した住民アンケートでは、基準値を上回る数値となった。医療・福祉・商業などの複数の分野が連携して、質の高い生活サービスを提供し、日常の生活機能の向上を図るとともに、住民が暮らすことに対する不安を解消し、暮らしやすく、魅力あふれるまちづくりをさらに推進していくことが重要である。					

重要業績評価指標（KPI）全体評価

※B未達成① 達成率80%以上 C未達成② 達成率80%未満

まちプロジェクト全体

KPI数	把握困難	評価数	A達成	B未達成①	C未達成②	D把握困難
31	0	31	11	10	10	0

うち再掲
13

【内訳】 施策1 「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備
快適で暮らしやすいまちの創出

KPI数	把握困難	評価数	達成	未達成①	未達成②
15	0	15	5	6	4

安全な暮らしを守る地域づくり

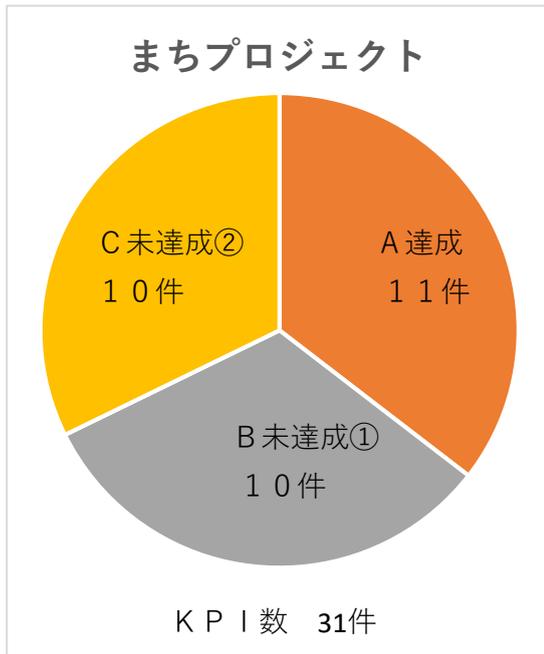
KPI数	把握困難	評価数	達成	未達成①	未達成②
2	0	2	0	0	2

しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり

KPI数	把握困難	評価数	達成	未達成①	未達成②
5	0	5	0	1	4

施策2 ふるさとづくりの推進

KPI数	把握困難	評価数	達成	未達成①	未達成②
9	0	9	6	3	0



重要業績評価指標（KPI） 個別評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

施策1		「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備								
		快適で暮らしやすいまちの創出								
No.	指標名	H30 基準値	実績値の推移 上段：目標値/下段：実績値					達成率		
			R2	R3	R4	R5	R6			
1 ★	高齢者対応住宅戸数	16 戸	24 24	24 24	40 24	40 40	40 40	100.0%	A	
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
-			-							
2 ★	バリアフリー対応住宅戸数（累計）	30 戸	42 42	42 42	58 42	60 60	60 60	100.0%	A	
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
-			-							
3 ★	一人あたりの公園面積（都市公園）	9.8 ㎡	9.9 10.2	9.9 11	10 11	10 10.9	10 10.9	100.0%	A	
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
-			-							
4 ★	国民健康保険加入者の特定健康診査受診率 ※再掲	42.2 %	44.1 33.3	44.7 34.1	45.3 33.1	45.9 39.0	46.5 40.5	87.1%	B	
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
長崎県の「ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業」により、前年度課題となった40代50代の年代を対象に連続受診勧奨の成果が得られた。また、計画年度途中コロナ禍により受診控えが目標値低下の要因の一つとなった。			長崎県の「ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業」を継続し、成果が得られた連続受診者の定着化を図る。また、新規受診者の掘り起こしや通院中の未受診者の獲得および不定期受診者の連続受診勧奨を図る。							
5	健康診査の充実（保健指導） ※再掲	80.1 %	69.5 80.3	70.0 78.3	70.0 78.4	70.0 66.4	70.0 77.1	100.0%	A	
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
家庭訪問や各支所等、集団健診結果説明会場での面談実施や電話による受診勧奨、健康教室によるフォローなどにより特定保健指導終了までフォローした。			毎年、特定保健指導の対象となる方から拒否されるケースもある。特定健診自体を受診しなくなる懸念もあるため、積極的な声掛けをすることが難しい。相手の気持ちに寄り添う姿勢で、変化を強制せず、選択肢を提示するなどして小さな成功体験を共有し、声掛けのスキルアップを図る。							
6	健康相談の充実（相談件数） ※再掲	479 件	450 440	450 418	450 432	450 432	450 358	96.0%	B	
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
健康に関する個別の相談に対して必要な指導や助言を行い、健康増進に努めました。			健康づくりに取り組んでもらえるよう、指導内容についてもポイントをしぼったり、新しい内容を加えるなどの工夫をひきつづき、行う。							

施策1 「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備

快適で暮らしやすいまちの創出

No.	指標名	H30 基準値	実績値の推移 上段：目標値/下段：実績値					達成率	
			R2	R3	R4	R5	R6		
7	まちづくり推進団体登録数	17 団体	20	20	20	20	20	100.0%	B
			17	17	17	19	21		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
-			-						
8	地域コミュニティ自治活動件数 (ソフト事業)	14 事業	30	30	30	30	30	43.3%	C
			6	7	6	7	13		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
少子高齢化の進行により地域活動の中心を担う人材の高齢化が進み、次世代の担い手が不足していることがあり、これにより活動の継続や新たな展開が困難な状況となっている。			過疎化や担い手不足など地域特有の課題に対応し、必要に応じて他地域や各種団体と連携することで、適正な規模で持続可能な自治活動が実施できるよう支援する必要がある。						
9 ◆	定員管理	385 人	364	354	349	345	340	100.0%	A
			368	355	346	340	339		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
-			-						
10	つばきの植栽による耕作放棄地の解消 ※再掲	160 ha	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	83.6%	B
			150	1,500	1,700	100	836		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
耕作放棄地において、管理者以外の第三者がつばきの植栽及び管理、収穫までを行うことができるシステムとして代理収穫制度を設け、広報誌やHPにおける案内を行ったが応募者がいなかった。 耕作放棄地4件836㎡においてのつばきの植栽に止まった。			今後、少子高齢化や人口減少による植栽の担い手等の確保が課題となってくる。 代理収穫制度の広報の強化や、町有地におけるモデル事業を展開する。						
11	つばき油の売上額 ※再掲	3,720 万円	4,000	4,250	4,500	4,750	5,000	93.9%	B
			4,786	4,768	4,008	7,059	4,693		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
昨年は大手企業やその他の企業からの一斗缶の注文が多かったため売上額も多かったが、今年度は大手企業等も在庫を抱えていた関係上例年程の売り上げだった。			固定された販売顧客に満足することなく、新たな販路拡大を求め、宣伝や営業を行うことが必要である。原料である椿実の安定的な確保に努め、併せて更なる販路拡大を目指す。						
12	つばき関連商品の売上額 ※再掲	850 万円	900	950	1,000	1,050	1,100	98.1%	B
			627	569	942	1,124	1,079		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
椿油加工品については順調に売り上げをキープしており、椿木工製品については主に各種イベント等において販売し、その認知度も高まってきている状況である。			椿油の原材料である椿実並びに椿木工品の椿木等を安定して確保していく必要がある。販売については各種イベントへの出店、商談会への出席を積極的に取り組むよう振興公社等へ促し、各種原材料の確保については、関係団体とも連携し安定的な確保に努めていく。						

重要業績評価指標（KPI） 個別評価

施策1		「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備							
快適で暮らしやすいまちの創出									
No.	指標名	H30 基準値	実績値の推移 上段：目標値/下段：実績値					達成率	
			R2	R3	R4	R5	R6		
13	直売所売上額 ※再掲	50,000 千円	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	68.3%	C
			42,082	41,128	41,157	38,489	37,582		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
<p>会員の高齢化による耕作地縮小や後継者不足が、農産物・水産物の品揃え不足に繋がっている。一時はイベント（感謝祭）も再開していたが、想定より売り上げが伸びないとして開催を見送っている。</p>			<p>会員の高齢化による農産物の出荷量減少及び水産物の漁獲量減少の解消。集客できるような目玉商品の開発や安定的な品揃えが必要。農水産物の集荷や新規会員の加入、仕入れを行い品揃えの拡充に努める。また、新商品等の開発、小規模なイベントの実施しにより、幅広い年齢層にも来ていただけるような直売所作りを目指す。</p>						
14	観光客延数（年間）	214,358 人	244,000	244,000	244,000	244,000	244,000	71.0%	C
			126,666	115,354	160,928	181,714	173,258		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
<p>令和5年度と比較し国交付金が減少したことなどから旅行商品を活用した観光客延数が減少し、目標を下回り、令和5年度よりも4.7%減となる結果となった。</p>			<p>地域の魅力である自然を活かしたサイクリングや釣り等の滞在型コンテンツの提案、民泊施設への整備支援を行い、受入態勢強化に取り組み、島外旅行代理店等と連携した誘致活動に取り組んでいく。</p>						
15	観光客延宿泊者数（年間）	93,793 人	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	76.4%	C
			66,344	60,264	84,940	86,992	80,212		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
<p>令和5年度と比較し国交付金が減少したことなどから旅行商品を活用した観光客延宿泊者数が減少し、目標を下回り、令和5年度よりも8.0%減となる結果となった。</p>			<p>認知度向上、魅力発信の為に継続した情報発信を行うとともに、魅力ある体験型観光メニューの推進を行う。</p>						

重要業績評価指標 (KPI) 個別評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。
 ※No. に◇印がついた目標はH30からの減少幅を比較し達成率とする。

施策1		「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備							
安全な暮らしを守る地域づくり									
No.	指標名	H30 基準値	実績値の推移 上段：目標値/下段：実績値					達成率	
			R2	R3	R4	R5	R6		
1 ★	自主防災組織数（累計）	34 組織	36	38	40	42	44	20.0%	C
			36	36	36	36	36		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
組織の必要性は増しているものの、少子・高齢化で危機意識はあるものの具体的にどのようにすればよいかわからないことや、人口が減るにつれ、地域の世話役になる人材の不足により自主防災組織の増加に繋がっていない。			消防団や女性消防団と協力して地域の防災訓練等を推進していき、消火栓取扱訓練などから始めて、組織化しやすい環境を整えていく。						
2 ◇	交通事故件数	256 件	250	245	240	235	230	0.0%	C
			243	226	216	240	256		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
-			-						

施策1		「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備								
		しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり								
No.	指標名	H30 基準値	実績値の推移 上段：目標値/下段：実績値					達成率		
			R2	R3	R4	R5	R6			
1	学校施設長寿命化計画に基づく計画的な施設整備 ※再掲	-	100	100	100	100	100	50.0%	C	
			100	100	100	100	50			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
令和6年度は、上五島中学校音楽室への空調設置を計画していたが、学校給食センター建設に係る業務等により、年度内の完成ができなかった。各学校からの小規模修繕については、緊急度を優先し、その修繕に取り組んでいるものの老朽化等により修繕箇所は増加している。			今後、統廃合計画や町財政状況等を踏まえ、必要に応じた長寿命化計画の見直しが必要である。							
2 ★	町道の改良率	73.0 %	73.2	73.4	73.6	73.8	74.0	60.0%	C	
			73.1	73.2	73.2	73.6	73.6			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
舗装率については、町道全路線の舗装済延長を実延長で除して算出しているが、全路線の中には、昔からの集落間を結ぶ山道なども多く、舗装新設のみの事業は行っていないため、実質的には町道新設または国・県道から移管された道路の延長増により舗装率が伸びている状況である。令和6年度は既設舗装の打ち替えと補修のみで新設がなかったため目標を下回った。			今後も舗装する予定（必要）のない山道等の町道もあるため、舗装率を上げていくのは困難な部分もある。今後は、交通不能や利用のない道路を状況調査し、町道としての見直しを図っていく。							
3 ★	町道の舗装率	79.1 %	79.3	79.5	79.7	79.9	80.1	40.0%	C	
			79.1	79.2	79.2	79.3	79.5			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
舗装率については、町道全路線の舗装済延長を実延長で除して算出しているが、全路線の中には、昔からの集落間を結ぶ山道なども多く、舗装新設のみの事業は行っていないため、実質的には町道新設または国・県道から移管された道路の延長増により舗装率が伸びている状況である。令和6年度は既設舗装の打ち替えと補修のみで新設がなかったため目標を下回った。			今後も舗装する予定（必要）のない山道等の町道もあるため、舗装率を上げていくのは困難な部分もある。今後は、交通不能や利用のない道路を状況調査し、町道としての見直しを図っていく。							
4	航路利用者数（年間）	441,111 人	440,000	440,000	440,000	44,000	440,000	84.0%	B	
			219,029	298,071	324,098	373,566	369,648			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
航路事業者の経営・営業努力及び観光客誘致の施策により、コロナ禍以降、利用者は増加傾向にあるものの、人口減少や観光客等の利用者数の減少により、目標値を上回るまでには至りませんでした。			地域交通全体を見据え、官民が連携して計画的な交通サービスの維持・充実に取り組みます。							
5	バス利用者数（年間）	356,629 人	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	56.7%	C	
			299,246	304,221	275,676	238,437	226,650			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
人口減少と高齢化の進行により、公共交通の利用者数は年々減少しており、当初の目標を下回る状況が続いています。			地域住民と協働して公共交通の在り方を検討し、共創の気運を醸成し、持続可能な交通の実現に向けた基盤づくりを進めます。併せて、官民連携により、新たな交通ネットワークの構築に向けた仕組みづくりを推進します。							

重要業績評価指標（KPI） 個別評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

施策2		ふるさとづくりの推進								
No.	指標名	H30 基準値	実績値の推移 上段：目標値/下段：実績値					達成率		
			R2	R3	R4	R5	R6			
1 ★	一人あたりの公園面積（都市公園） ※再掲	9.8 ㎡	9.9	9.9	10	10	10	100.0%	A	
			10.2	11	11	10.9	10.9			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
-			-							
2	中核スポーツ施設の改修（累計）	4 施設	5	6	6	6	6	100.0%	A	
			5	5	5	5	6			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
-			-							
3	まちづくり推進団体登録数 ※再掲	17 団体	20	20	20	20	20	100.0%	A	
			17	17	17	19	21			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
-			-							
4	つばきの植栽による耕作放棄地の解消 ※再掲	160 ㎡	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	83.6%	B	
			150	1,500	1,700	100	836			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
-			新たな森林管理制度により、まとまった面積を造林し管理委託を行うなど、収穫のためのつばき林を作る取り組みが必要となる。県と連携して植樹を希望者する者を増やすほか、管理請負団体の育成を行う。							
5	つばき油の売上額 ※再掲	3,720 万円	4,000	4,250	4,500	4,750	5,000	93.9%	B	
			4,786	4,768	4,008	7,059	4,693			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
昨年は大手企業やその他の企業からの一斗缶の注文が多かったため売上額も多かったが、今年度は大手企業等も在庫を抱えていた関係上例年程の売り上げだった。			固定された販売顧客に満足することなく、新たな販路拡大を求め、宣伝や営業を行うことが必要である。原料である椿実の安定的な確保に努め、併せて更なる販路拡大を目指す。							
6	つばき関連商品の売上額 ※再掲	850 万円	900	950	1,000	1,050	1,100	98.1%	B	
			627	569	942	1,124	1,079			
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組							
コロナ禍の影響が少しずつ緩和され始め、大型クルーズ船も久し振りに再就航し、コロナ禍以前の売上が戻りつつある。			椿油の原材料である椿実並びに椿木工品の椿木等を安定して確保していく必要がある。販売については各種イベントへの出店、商談会への出席を積極的に取り組むよう振興公社等へ促し、各種原材料の確保については、関係団体とも連携し安定的な確保に努めていく。							

重要業績評価指標（KPI） 個別評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

施策2		ふるさとづくりの推進							
No.	指標名	H30 基準値	実績値の推移 上段：目標値/下段：実績値					達成率	
			R2	R3	R4	R5	R6		
7 ★	学校での歴史教室等の開催（年間）	8 件	10	12	14	16	18	77.8%	A
			8	12	28	18	14		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
町内小中高校へのふるさと学習の周知、及び利用しやすいふるさと学習のメニューの設定が課題としてあげられる。			町内小中高校がふるさと学習を利用しやすくするため、学校のニーズの把握に努めるとともにそのニーズを反映したメニューづくりに取り組んでいく。						
8	こども・青少年劇場・寄席・コンサート等芸術機会の提供	4 回	4	4	4	4	4	100.0%	A
			1	2	6	6	7		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
-			-						
9	文化遺産の整備・活用の推進	1 件	1	1	1	1	1	100.0%	A
			1	1	1	1	1		
KPIが目標値を下回った理由			KPIを上昇させるための取組						
-			-						